

人生に「私」を取り戻す「勇気」とは――

私教 X 勇気

2019

11.2 土

【開場12:30／開会13:20／閉会16:30】

会場 難波別院 (南御堂本堂)



仏教者
木越康



精神科医
名越康文



脚本家・小説家
和田竜

パネリスト

仏教 × 勇気

私はどこにいる。
何のために生まれてきたか。

このたびの「親鸞フォーラム」では、現代社会の中で悩み苦しんでいる私たちに対して、“生きる勇気”を「脚本家・小説家」「精神科医」「仏教者」の視点から探ります。

人はみな、幸せな人生を願っている。心地よい居場所にいたいと思っている。だから「私」は家庭や職場で、自分の役割を懸命に果たそうとする。しかし、なかなかうまくはいかない。気がつくとも人間関係はギスギスし、ストレスを抱え、居場所は遠のく。

もちろん、そんな単純じゃない。でも、負けるわけにはいかない。勝てなくても、負けないように、あきらめるわけにはいかない。しかし、気がつけば折り合いの人生、長いものには捲かれていく……

やがて、私の思いは漂う。ふと感じる虚しさ。これが「私」の人生か。私はどこにいる。何のために生まれてきたのか。

今こそ、立ちどまり、人生に「私」を取り戻す。勇気について考えてみませんか。

パネリスト

和田竜氏

脚本家・小説家



1969年、大阪府生まれ。早稲田大学政治経済学部卒。2003年、映画脚本『忍ぶの城』で城戸賞を受賞。2007年、同作を小説化した『のぼうの城』でデビュー。同作は直木賞候補となり、映画化され、2012年公開。2014年、『村上海賊の娘』で吉川英治文学新人賞および本屋大賞を受賞。他の著作に『忍びの国』『小太郎の左腕』がある。

木越康氏

大谷大学学長



1963年生まれ。大谷大学真宗学科卒業。大谷大学大学院文学研究科博士後期課程満期退学（真宗学専攻）。私学研修福祉会国内研究員、大谷大学短期大学部助手、同学短期大学部専任講師、同学文学部教授を歴任。現在、大谷大学学長。主な著書に、『ボランティアは親鸞の教えに反するか—他力理解の相克』（法蔵館）、『生者／死者論』（ペリカン社）、『正像末和讃を読む』（真宗大谷派大阪教区）など。

名越康文氏

精神科医



1960年、奈良県生まれ。精神科医。相愛大学、高野山大学客員教授。専門は思春期精神医学、精神療法。近畿大学医学部卒業後、大阪府立中宮病院（現：大阪府立精神医療センター）にて、精神科救急病棟の設立、責任者を経て、1999年に同病院を退職。引き続き臨床に携わる一方で、テレビ・ラジオでコメンテーター、映画評論、漫画分析など様々な分野で活躍中。

コーディネーター

本明義樹氏

聖教編纂室主任編纂研究員（真宗大谷派）

1972年、京都府生まれ。大谷大学大学院博士後期課程満期退学。真宗大谷派教学研究所研究員を経て現職。真宗大谷派専光寺住職。

応募要項

- 日時** 2019年11月2日(土)
【開場12:30 / 開会13:20 / 閉会16:30】
- 申込方法** ホームページの「親鸞フォーラム in OSAKA」申し込みフォームから、もしくは必要事項(氏名・住所・電話番号・参加人数)を電話・FAX・メール・ハガキにて、下記申込先にお知らせください。
- 締め切り** 2019年10月21日(月)
- 入場料** 1,000円
※事前申込による聴講券が必要で
※入場料は当日受付で納めていただきます
- 定員** 400名
※申込者が定員を超えた場合、抽選の上当選の結果は聴講券の発送をもってかえさせていただきます
- 申込先** 真宗大谷派 大阪教務所
〒541-0056 大阪市中央区久太郎町4-1-11
TEL: 06-6251-4720 FAX: 06-6251-4796
Email: osaka@higashihonganji.or.jp
ホームページ: <http://www.icho.gr.jp/>

会場アクセス

難波別院 南御堂
大阪市中央区久太郎町4-1-11

地下鉄御堂筋線「本町」D階段⑧号出口より南へ200m

または
地下鉄中央線「本町」I階段⑬号出口より南へ50m



銀杏通信 検索